

# 情報公開文書

2007年2月から2022年9月までの間に、京大病院放射線部にて、CT検査を受けた患者さんへ

京都大学大学院医学研究科放射線医学講座では、以下の研究を2018年3月15日から実施いたします。

(1) 研究の名称：肺結節鑑別診断支援システムの実利用化に関する探索的研究

(2) 研究の目的：医療画像のデータ量は、近年著しく増大しています。最近10数年の放射線画像診断機器の性能向上は目覚しく、殊に最新のCTやMRからは3次元方向に同等の高い空間解像度を持った3次元画像が短時間に得られるようになったことがこの増大の一因です。このため、膨大な情報から診断のために有用な情報を自動的に抽出することにより簡便に正しい診断を引き出す、あるいは気づきにくい情報に注意を促すことにより診断の誤りを減らすといった自動システムが診断補助として有用と考えられます。

この度、本システムのプロトタイプを開発しました。これを改良し、実用化することを目的に本研究を実施します。（京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています）。

(3) 研究期間：全体の研究期間は2018年3月15日から2022年9月30日  
研究対象者登録期間は2018年3月15日から2022年9月29日を充当します。

(4) 情報の利用目的・利用方法：既に院内にある情報から本研究の実施のために取得した情報は、本システムのプロトタイプの診断推論アルゴリズムの改良・改善および診断推論の正確性の検証に利用されます。その目的のため、情報は匿名化した上で、共同研究機関と共同で本システムを改良・改善し、その結果を解析・評価します。その際に、患者の皆様から取得されました情報を、匿名化して個人を特定することが出来なくした上で共同研究機関に提供することがあります。

(5) 利用する情報の項目：患者さんの放射線画像データおよび関連する臨床データ（年齢、性別、診断名、喫煙歴等）を個人のプライバシーなどに配慮し、匿名化した上で後ろ向きに観察します。

(6) 研究の拒否：本研究の対象とならないことを希望される際には、当科に連絡いただければ本研究の対象から除外させていただきます。

(7) 情報の二次利用：本研究により得られた情報は、この研究を実施している時点では特定できない将来の研究のために用いる可能性があります。その研究は、倫理審査委員会で承認された後に、ホームページ上で情報公開文書にてオプトアウトを行い、研究対象者が拒否できる機会を保障した上で実施されます。

(8) 研究機関および研究責任者：

研究機関： 京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座

研究責任者： 坂本 亮（京都大学医学部附属病院先制医療・生活習慣病研究センター 特定助教）

共同研究機関： キヤノンメディカルシステムズ株式会社

研究責任者： 神長 茂生（HIT事業戦略部 部長）

(9) 研究資金・利益相反：この研究は、キヤノン株式会社及びキヤノンメディカルシステムズ株式会社との共同研究により実施します。キヤノンメディカルシステムズ株式会社からの資金提供により設置されている「リアルワールドデータ研究開発講座」に所属している研究者も参加しています。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

(10) 研究・研究施設に関する問い合わせ

この研究についての計画書等の資料を、他の研究対象者等の個人情報等の保護、研究の実施に支障の無い範囲で閲覧することができます。閲覧を希望する場合は、下記に記載の情報管理責任者である八上までご連絡ください。

研究課題に関して

京都大学医学部附属病院 先制医療・生活習慣病研究センター放射線診断部門

医師 八上 全弘（やかみ まさひろ）

(tel) 075-751-3760 (E-mail) yakami@kuhp.kyoto-u.ac.jp

京大病院の患者さんの場合

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

Tel : 075-751-4748 E-mail : ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp